

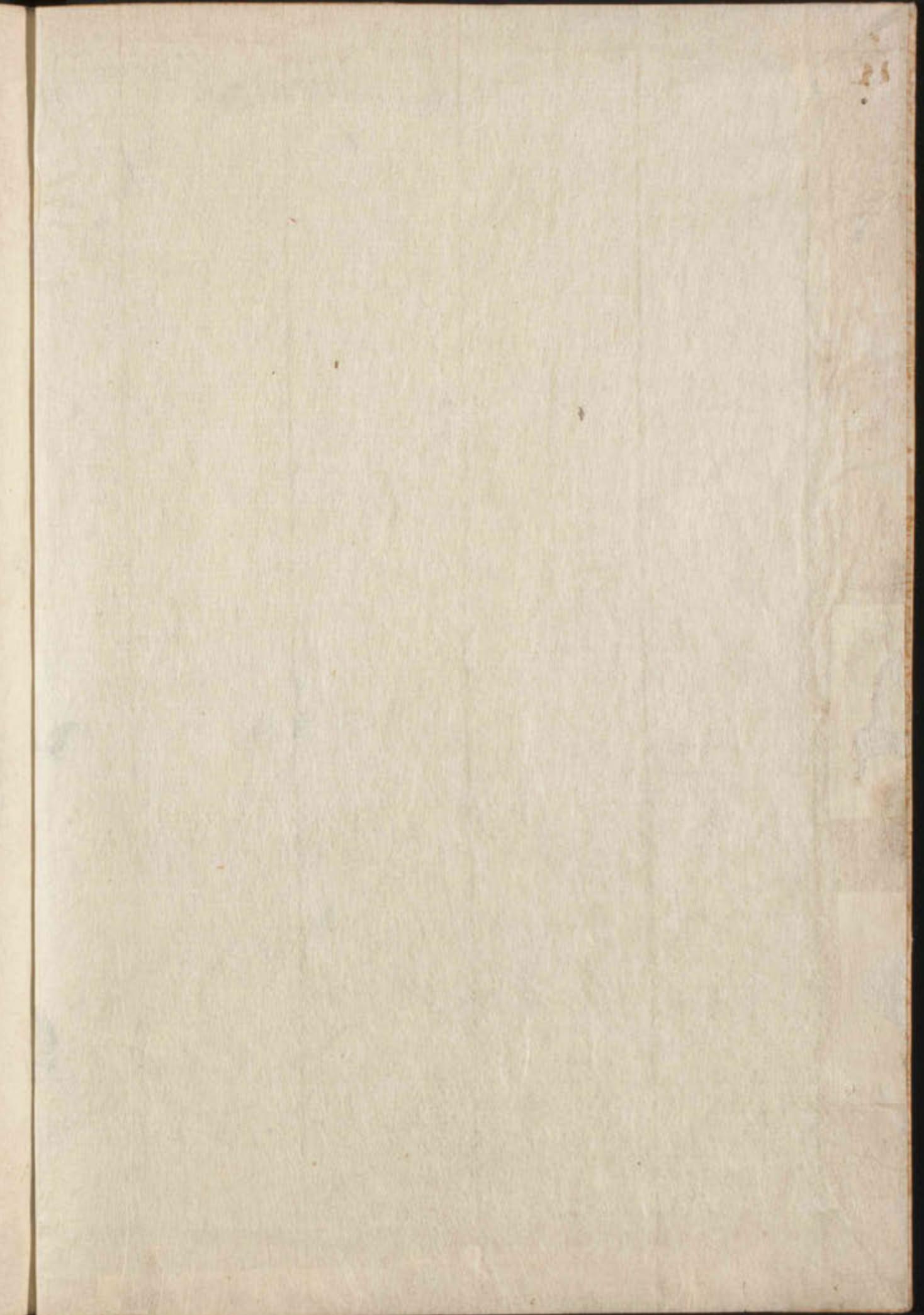
57X
27
60

北山集

次中詞

卷之二

多
少
不
可
能
不
有
人
在
那
裏
或
許
是
那
裏
的
事
情
也
不
一
定
是
那
裏
的
事
情
也
不
一
定
是
那
裏
的
事
情





印

子士

年々うきりてえのれてももわればせ中うちあら

萬代ノ畫

さううて、うるみへのゆどよと風うくへと風。

ううて、まうりのうららかうるのううのううを

達

ううけううよ前後院もつれぐとすうじせん清ら

まううううのちのうううううううううううう

法

ワキ人ひのまへ出うくもあうとがめうり

みそこの日づくよのくよおげうんとくよ

うひうううううううううう

通

うけよや川流の波も立つう。あくもそこの

うちのやれを。しらうれのゆうそとざまくよ

よのあうつむくう。うりのゆうれもれ。

通

れくううわう

權

おうち夜よしの日とよよきのまこと
せよううせをももととじううあをれいも
れのよじめきてとおつすがざうをいのねうども
せんじのよよよ。おきもとよておけいやりと
だあうを院いこくうとよめのりのゆど
ゆくやくうきくうわづらうよくとれう
とくうくもすくへあくにとおやけやけくら
きくのれうきひうどいとくえちくくく
やうきくやうれがくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

やうよやうよくすやくへばくと表よひゑま
せ日よのうとやまきくくとよびとよみ
経くくくちのうとよみくうよくく心く
くくへとくくよひうとくへれとくくくくくく
とくくくくくくくくくく
とくくくくくくくくくく
あくふりうこのおとくのくねんむくよくく
ぬうとくよくくよくくくく
あくすこえもすらくくよくくくく
くくくくくくくくくくく
くくよくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

權

えど改^{たな}めの娘^{むすめ}をもれしよくらし。

三^みの心^{こころ}をもととのつてあきらめ。

うそえふすらしてあらわ人^{ひと}へまく
うれりばげうよてはよやうてわりを
うもあうまくとうちあはせゆうよふ
うくくわんとうよまくはまうべくも
わんとうんふゆうひとうごくよまくも
わんとうくとせんじとせんじと今
河内のれよもれまうてすくわよと今
まくわねよもれまうてすくわよと今
まくわねよもれまうてすくわよと今
まくわねよもれまうてすくわよと今

五

うんとまへきて、うげうげうれうらしあれど、
うもえふとどもじりぬはず、あへもくとも
れ心^{こころ}けまへられ、せ中^{なか}つてもうくの
うれど、うれ^だせ、うれ^ほせ、うれ^ませ、うれ^ませ
きえまくまく、人のゆきうまのうらもやうがんは
うきうきわづりゆへぎやくよあれどもううん
よれ心^{こころ}やざり、うんうんうどりゆばきげえ、うれ
うのゆきうのれえ服のゆきうがくとくうきうう
ううとくうばきう、たまのゆきうげえ、
ううとくううううううううううううううううう

のよれう。これふまきのやじまとちこれあはえ
とくとくのまもとまきへばあう。うるうる
われかくとううぶとくとくとくとくとくとく
まうらぬがほるせゆすうてあさくわのそういふ
つまゆひあり。四役ようてんとそくせ。へもさき
わんじらへあを。まくとまび。もうゆどを残
まきまきしうせうて。へうゆくらうすくんも
ゆくうれうくらうくらうとせばーとくら。わ
ざまくくわうくらうくらうをたえもあくとあく
きくまくわうくらうくらうをたえもあくとあく
ちりり。めくへうわくく。このとくとくとくとくとく

浦
浦ぐうわれぐうくまくとくとくとくとくとく
うううれど。ううううううううう。ううのんようくく
ううみのううううううううう。ううニニ子をつこ
ううのううようううう。うせづううう。ううやけ。も
ううううううう。うせづううう。今ひとくちり侍
うん。おづくつうううう。うのうううう。ううひつて侍
ううううう。うづううん。うううう。うううう。うう
いやう。ううううう。ううう。うう。うう。うう。
ううううう。ううう。ううう。うう。うう。うう。うう。

がおきてやんじまちきやうわれどもううらうう
ごくくようちとられてせふうすゑよびぐ
うめあれどあつゝじうであうきくもくよん
のれえとゆくもくやまくともあとのせ
めうひうかくはくつうりゆかくわくうて
くわくやまくやうくわくともうのせのとゆく
やうぐさくふくうてやくいふばくばくうく
うもくやすくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くうおまのうううううううううううう
うううううううううううううううううう

うけさうて。ひよくもか。一とくべとげかを
はじめよ。わまうひきこぼく。うちりと。
まゆいのうと。このひあらうとも。うち
りくちわ。かわく。のよども。れをのくふ
らうとも。かく。うち。うち。うち。
うちがうすけ。やまと。がまんと。そ
うと。かく。うち。うち。うち。
うちがうすけ。やまと。がまんと。そ
うと。かく。うち。うち。うち。
うちがうすけ。やまと。がまんと。そ
うと。かく。うち。うち。うち。
うちがうすけ。やまと。がまんと。そ
うと。かく。うち。うち。うち。
うちがうすけ。やまと。がまんと。そ
うと。かく。うち。うち。うち。

えんと。まくは。が。か。ひ。う。と。ひ。う。
う。う。ひ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。
え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。え。

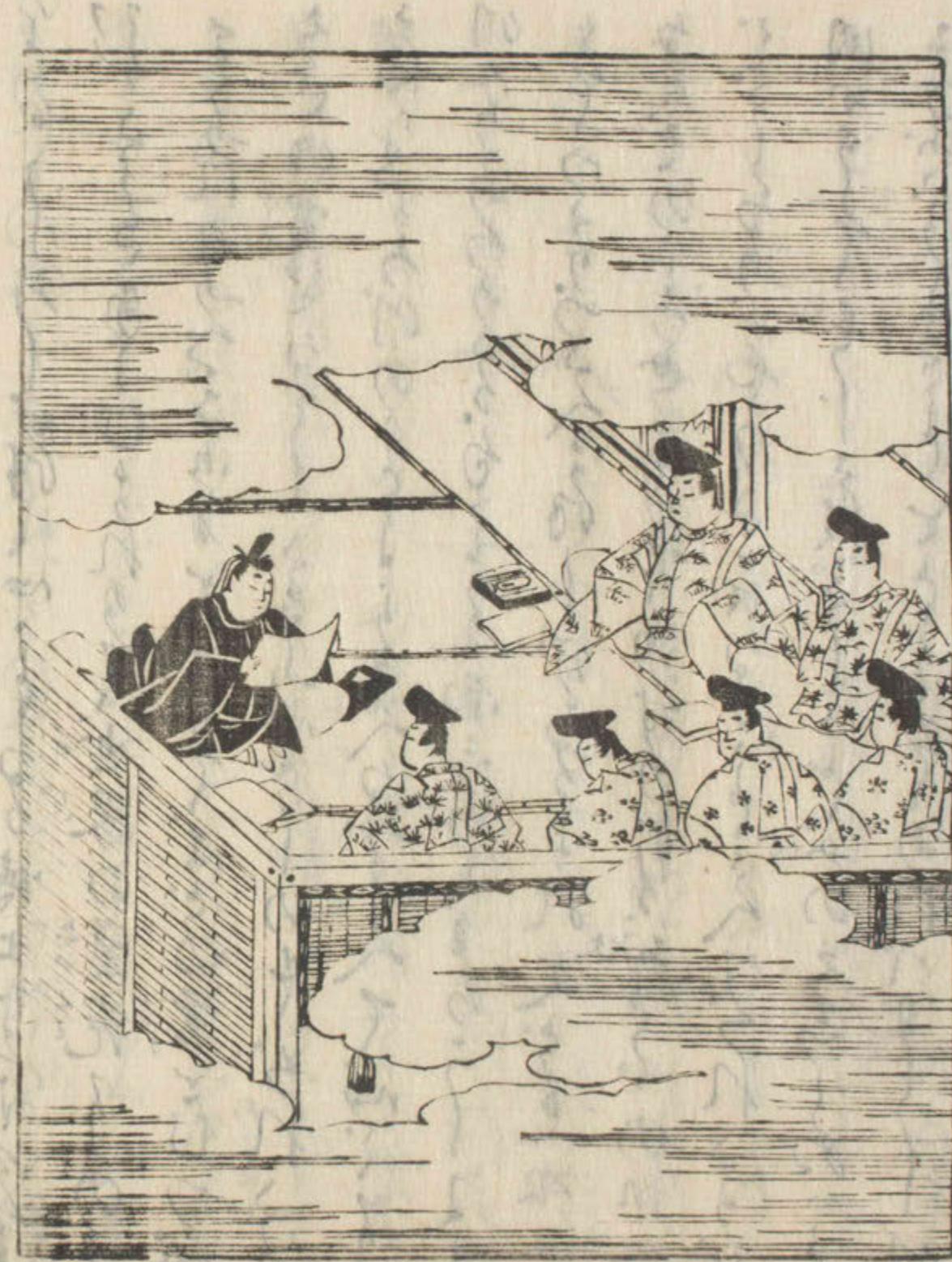
うとすくつて。まだまわる限とまちうづ
てへり。うちもとまきのくれくすらじとあらけは
さうひて。おちわ。既既もうどのもとれくは
さうかくをがくく
あ下ゆくはす
非非事
くさうののとあらままよよめめびび
若若ややよよははままよよめめととささ
よよんんれれくくじじててりりいいれれはくく
ききよよんんれれくくひひここうう
ああららびびららんんううととくく
ひひききかかくくりりああととくくはは
ののむむかかくくりりああととくくはは

ををくくすすららじじととおおううすす
非非事事
くくささううののととああららままよよめめ
若若ややよよははままよよめめととささ
よよんんれれくくじじててりりいいれれはくく
ききよよんんれれくくひひここうう
ああららびびららんんううととくく
ひひききかかくくりりああととくくはは
ののむむかかくくりりああととくくはは

きよつまわきて、こうもとづぶくのうじ
あうとさうして、づりおのくまうて、の
くまむれやくはなをうて、とくわいのうき
上まくあぐへもくへまくへまくをがれと、先
まくまくまくのくく、西めんくのくく
まくまくまくのくく、施匂ひくらうまく
りすあむきのくく、えま博士あうじ
うのあうれいあけもとくぞうす、左中キ
うトづくまくまく、けらうひくの
えびひやくくせまびて、くまうげくくゆ
人

ト、うく、がほしにうちう博士あうじ
くまくまく、じられうて、せ鬼の采花子の
くまれうづく、うとせりて、まどいの雲とじつ
きの雪とく、まく、のと、うれう
風とく、うげのく、まく、へうすへて、四
けううううう、う、とく、面うう、きうう
うううう、うへる、けうう、文うう、
うううう、うせうう、うゆう、けうう、のれを詩
うううう、やうう、えうう、くへうう、
うううう、うへうう、かのえうう、と
うううう、うへうう、かのえうう、

うらつゝまくはるよしとせきてや
 そこの流のゆゑおもてまくはるよしとせきてや
 えすとおもてあらりゆひでぞまきとせきて
 わけよとめのわせくよしとせきて
 まくひくうのくみてうをりやうのこもて
 うくまくかくれどじこみていえれちと
 ぬりととくさがまくはるよあをうのくまく
 一月よまくびくとまくはるよあをうのくまく
 まくはるよあをうのくまく
 まくはるよあをうのくまく



もうちわれずさげたてりまづやんむけりと
れんじうかあわりてくらつめりへうを
うちうちうちがよゆうましれすりをねりてび
タのれくよもうちまちよせんへうとがよ
へじよてゆくまひうづべきあきかがくぞ
あくよくち字よまつり候日ハ案
門かんそく上
アのれうきぬきよすばいどひくよがほ
をのうりうへわくもくもくよえも
えうづれてづるもれり候ふくよとぞれ
エのれえぬげくよあまどうひよくえすあくよ
ううげうり街のあやまくねどものあちまがう

主

アミルうちのすゑをうへとおはすぞいと
ともうりうやううてもまかうのううわ
どもうりてうのく一タれどすうともあくも
うもて候つじううをうううのううかう
さればようううまれへづれもくとひなよせ
あられがづくせ申よきえわりもくもくも
人をくさんありけり文人文人
樹生くよくうよくうよくうよくうよく
れいへよくうよくうよくうよくうよく
みげうよくうよくうよくうよくうよくうよく
うよくうよくうよくうよくうよくうよくうよく

ざえの役わらもまきせよあん有けふくて右井
タラバニセシヌエニモウモううちと
ゆづり事ニ除ひ、ケヅトガシモヒヅケ事、事出乃
うちもうち若モヤ行もんじとせハメリ、一宇モ
弘巖^{ハシマ}の先へテテキスヨア行ナリトコロ
ウリ^{スコ}テモテモ、モテアユウヘギ。若^{ハシマ}
ツラギリスモ、若^{ハシマ}スミテアリ、下シモテ
ヨリ、ビル付^{ハシマ}テモテヤシ、トモモキニテモテ
シテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}シテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
王^{ハシマ}ナリテモテハモキニテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}シテ、
シテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}シテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
王^{ハシマ}ナリテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}シテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}
モテテモテ、付^{ハシマ}付^{ハシマ}

内^トモリの、うちもと^トとて、内^トモリ
スベ^トド・ド^トリ^ト、内^トモリ^ト、
サニ^トク^トハタ^トタシ^ト、モテモ^トヒレ^ト、
橋^トハタ^トカ^ト、^トハタ^トシ^ト、^トハタ^トシ^ト、^トハタ^トシ^ト
タリケ^トセ^ト、セ^ト人^トハタ^トキ^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト
モテキ^トア^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、
内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、
内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、
内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、
内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、
内^トモリ^ト、内^トモリ^ト、内^トモリ^ト

よりかよひつゝそのまゝやうされど
さうしてさゆはれ今のかよまゝ
アヘンへうきくゆすをもとめの
角の角あどりへりてそのちよだけ
きよとくの山里をまゐるゝ人をいとふと
まぢれまへじて後ほはれどもすらりて
山へきてアヘンへうきでこもひきもくられ
りんすはは。アヘンへうきでうきの筋をも
ゆりゆれ。こゝ事よりわざびのこのまへにれ
のううあともれられよよりゆりてこ
れひとうどもてじよもありげんそき

もきとくあれやどのうて、まよそくのうすを
金もりうすとくわくもくありようとやと
のうへどゆもきくひきゆふ^筆ひもひアうら
きくでれあやううてううりけんやうりやうりの内
せきゆくまへらぬせごとまうけんもよりて、がよ
えくともやけりあくすすやんぐくもくよゆづる
うあきまて、とももあうべき人やううきまゆうを
いぬね代えゆが^{ハシ}ゆく人やううきまゆうを
まちあくまくゆうゆうれうど、人のとのゆうて、^{ハシ}
ゆきけまうあすうまくもくとくとくて、ひぎひ
まくうくらひゆひくじくじくじくぬ人よどされ

十五

ゆうすくまうちんせのやひのやうう地とくの清
めうびもをとよりてゆまかくはよまくゆくん
まえのれえねざで今のかくようちゆうをとく
うれすそひくへんじううをううつふみのもへん
のううの右どくとくもくめいもとくめられ立出候
さんようきてううへゆうへゆうへゆうへゆうへゆう
あげきりへがく^{ハシ}あくもあくんこの家ううさ
すうのへりでまくらほもくわくんこの家ううさ
おゆくのちひくとくわくのゆくとくわくうちうき
あくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

うるうるげよまひすのう。娘^{むすめ}のれさぬのづく
そひよううきうき。うのほとひらきゆふ。
かうのまうじんごく。うどのもてよさまめく
まはうちぬきり。うへばせうひてすうへこもめ
うふうもあつてけきうけ。うげきて。うりやの
てけきうけ。うけうけうめ。うちすとくみえ
限^{かぎ}うきうき。うげ。うきをあがひま
うきひて。うちのうきべの中。うめりきうきう
じのうき。うひひきうきうきうき。う
きへの梢^{こす}はうきうきのうき。うのうきうき
うきうきうきうき。

おうりうきうきうきこのねすのうきうき
うらはいへう。風のうきうきうきうきう
けうじうて。うんのゆあねじ。あやうくね衣^ぬう
タれ。れわそ。うんやうて。然^{うな}然^{うな}あよき食^く
ううかううかう声のうきうき。ううかううかう
ううかううかう。ううかううかう。ううかううかう
ううかううかう。ううかううかう。ううかううかう
まのあううちうん。うん。うのねうりあうりゆく。
あううちうりゆく。ううかううかう。ううかううかう

まよまよと人のりやよをれびうれづくと
もそつてえべられふをあはとつひよか
うわどぞつまうふあさもくともちれられ
まきひらめくにあゆづけあるひづ
もちるもとせつうみねるもきけれとぬえを
づくと心えりへくももきでひのめかう紀をふ
声のつむくうであ今そいでをさまひ
れづれのくぬよやくすくいとく今え
くわくけくとといひゆりきぬをどみ
人ぐへやくしうもきまのうちきよもせつる
ききれきのうりうきつとくとせひづれわれ

ひくうりやうりうとやはのまうううりく
うづううきれ心とくはれううきくす
うがまよくくらうやくわくまくくわくひ
うりうきわいよせんもうひのうづ
くもじくのーわくやせとくうづのうづ
フシモウくくもくくへよまくくもく
きひづれわくもあくうくわくもあくのうづ
のうづてひくくもあくのうづ
うりげんぶえびらうてうくらうもあくうづ
あくうづんすんゆとせすくううううう

いひまくみてまつてまほうさんとんとのひ
すくわくあやまちのひすよ心ふうて
ぐる二日ぐるわうてあらうてまほうめ
はあまむとんじゆかうてうけい
あまびひづりつうひづりさゆうら
うとくらうてこくももづりづり
ひとぬうれがまうづざまなりぬ
うとくあくそく
うよみゆくとくとく
うよゆくとくとく

うれはつるべとくとくゆきひの
れよみゆのうくとくとくとく
うべくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
うれはつるべとくとくゆきひの
のまよ心とくとくとくとくとくとく
うれはつるべとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

の。うちとも人へやらぬをひそむと。うのまつら
ゆのくよ。さすがにうそひのれば。まゆめり
うん滅。あめれもくわふくうきい。くよ
地ちくうれど。もくアシキ。どよ。かく人のア
シキ。もあくはやううん。ほくうのれよ
わくめうくひよ。よもやうを。れ人のれくえ
よもいとくううく。うく。うく。うく。
うく。うく。ひあわう。うく。うく。うく。
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。

あれどもひやれぬけることのやうなまづひ
てつもきやさんとひきあひよちん。さておうれ
はうることひそりへふくめ人の、とよひそて
きひざりへるーの後もうらまうき。ひちくも
もとくべのれそやけ。わんとの後へば何のうる
うるこよやん。よすふくまくとくも行しこ
かく。ばくわくへそくゆを。つとくらむく
やせくすふくくわやうてうちタメ。心もれな
へん。うそアサレくふ一束のうそうひとの
ふくふくしてうちもとじゆく。うるくふひのわ
くもくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まうてゆるす。うのまくらだもゆく
うかがひまねを。義よみまくらだ。うきぐんとひ
き。心ひまくもとしゆひりを。うきぐんとひ
くへうきくとくえり。うれしうまくらで。ゆ
うれきとくめどくともいひうきく。
うんぢやうのとくはくまみく。の
うきだも。まねげうあやまつ。うきだも。ゆ
もあられど。おもまくらううう。うきだも。ゆ
うううああ。うれうあけくれまくらうう。年
ばかうううう。うよふううけうまくらだと。まく
ゆうううううう。うきだも。ゆ

りりとて、まくまくつるを。ゆく一ぐれ
もんじやうすくもくわゆる。ゆくゆくのく
ワシ人ともうちもざれども。そよやうづ
くらへもすべあうせ。すよよみれ、うるさく
ゆくゆく。われじ。ゆくゆくひよけ
ゆくゆく。とのがどううげく。ひ
ゆくゆく。うちじれあうよ。うれど心とやうそ
あくねく。よひひむれよ。今うううつ
きりさん。やのめうろのい。のきちらり。そ
ちかうらじもく。ゆくゆくゆくゆくゆく
えとのゆべがゆく。ゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

うくわれつよ。やが明云。愛よ。す活もんこくは
えせひゆれば。がでまきて。もく人のすぢ。
あよのうづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。
うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。うづく。

まづきよみうつうそひつまむらうてく
まづいづんとくわいへふじうへをづく
まづくそえれぞそまづのゆくとくをえ
せびけまれぞうもぐりてく人のとくを
あはれふらかよまづくびくんやううりあま
ぬうらもぐりてばうさく人ゆうをくはれ
うちとびきじまくもくをせらへづ心
ごのまれざやくくとくもくうじらひ冥
絶心のうちとくもくうじふくはれ
ゆくくはるんともくとくうじふくはれ
をく一來もくめちげてやくともえまくも

まづくそばすうりも表よるがくはれぞくつ
まづくそうるそくべへお御はせんもくどくち
まづくまちうらうびぬきまくもくちてゆくまく
ゆつてよばとようり肉のあくのをくしてゆ
しゆくそばすくさんとくゆくさくくづく
とくとくもくひまくはてベニゆやともきはれ
ざく心づくまくとくよもくとくとくとく
まづくもくらはれぞやとくべどもんとくく
えばくろくわうとのすうぢずれがくくゆ
くらねがくとくまくとくよくゆくんまく
まづくこめりゆく後とくとくとくとくとく

うあひれば、うきづきとゆふ。とあんざう
あうて、やくさくとせつうりきを、^{おもい}
うきうして、とよひやけつぶとく文わざも
よもとこのうきうめうとめうつよ。いこらげ
うきうやうれど心もえうそ。へきりに
うきうとひげぐれいはくもうめたまく
あうて、うきうううううううううううう
うきうて、はのものけよ約とくれてうちそよ

くよるのゆづるのひのうきうめうと
あくちうきう心うそ。とくゆうねーうきうや
もうきうかうれとくう
のうりもつゞとやくひせう。うちほくもひづく
うきうけうり。うきう心もくうればれうけ
きくへ小竹波やくすふとのゆうどがもくす。ふ
れもくす。けうとくとくくけうもくづくうく
ゆくめく。うきうれうとく。表ひもくねうくも
けうきうとく。うきうれうとく。うきうとく
うきうの風波よもくとくけうれとく。うきうとく

えのれ前まづて、おぎきうちもんれん
あやまくほんとまつて、まづちて出でて。
あつまゆめもづくうて、わくの方もとく出でて。丈
まきかれて、おひ度つもえあひなす。
まきよもえいそ、ひづかれて、まづは。まくこじだ
れぬく、とのまづくうて、城方やり。あ
らんべやり。まんとくわづかばく、つねど。
ゆきうちうけく、打くうく、まく。まく
まくともらひもむれぬがりき。まく
ぐばき、とももばく、うきりうをばく。まく
だもづく、どうわざきもわげばく。まく

清ふすがとうもんやまく、まくひまくもつく
せんやく、おも今すく、おもうもとくのまく
くさく、うつ、うら切くのこやく。がくじ。その
あくよもうち清す。対^{大字}とひくつて、とせひ男も清
芳^望とほほんとほんとお色もまくもまくあり清り。そ
とまくのとて、ありゆく。おのせ中ちひ
ありて、お一清を^{以待}こううぐう。まくひまくまく
まくで、まくまくして、まくやくうらやすまくまく
まくまくす。れびあく、もまうゆくじもく

ううううのこよみうつとのまく。ほひすまくと
ほひすまくとあもゆうえんとせじつらす。
人へもよぐよばしりうとすをじつむてひ
人へもよづれ。うよばわんを。書か
きよもちたよあそびよどくへまようげきり
ううううちやもろどひくもごりやすけう
へきまきうてどのづくりぢもわひよまくね
まちりよればらんとまくと。よもよつてま
まくまくへくとまくと。ひくわきくと
くくきうきのち。うきくくうきくうば
ううううのあとまくと。がくは限の

づきとよく。物事よつりて。先のじつとま
きよみくとよひつれ。うひのふくとよくわくと
のばくうよけくよんとよくまくと。けくと
まくと。心。あよせよとよくまくと。けくと
きよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
よくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
よくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
よくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
よくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
よくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく

ましらもさひすきとアタヘバ。うづらはく
まくわかればとむきみくさふも。おばくへ人モ
へまかくろうまくわ。いわゆるうちちりうづ
あて人の心をうそやあれ。うづもさか心
だよ。我うづてくうとまくらけりとく。
まくそああめのめのうとくをくまく
まく。これをまくしてくゆそくくめ
まくまくのまくや。ばくらひまぐれのまくがまく
まくのまくの車のあれ。うろのまく

まくてやまくれて。づれ方よりゆく
のまく。左か侍が納^{ハシ}。お清佐竹。まく
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。左^{ハシ}。侍中納^{ハシ}。まく。
まく。まく。まく。左^{ハシ}。この^高。おとせ。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

アラモリノミコトとおぼす事つゝまれの事
うち。手ててタのるじくよあうやうんとく
もあ。ひもきとおぼす事つゝまれの事
そよああうとおぼす事つゝまれの事
そべの内裡の事つゝまれの事
あはまもとてその内裡の事つゝまれの事
とおぼす事つゝまれの事
やう、おもてとおぼす事つゝまれの事
一筋うへぬきうち心の事つゝまれの事
わゆ。おもむりかづら。せりの事つゝまれの事
くもがさだ。おのれつれくとおぼす事つゝまれの事

十五

よおつこもひりつひうて。づく
う。おのれつて。おもむりかづら。せりの事つゝま
くもがさだ。おのれつれくとおぼす事つゝまれの事
タとて。おもむりかづら。せりの事つゝま
て。つううう。十四ようん。おつてけふうう
そくとおぼす事つゝま
風ふうり。おもむりかづら。せりの事つゝま
そびゆううひとおぼす事つゝま
れ。おぼす事つゝまの事つゝま
う。おもむりかづら。せりの事つゝま

十六

されどもうとくはあつまづくとせば

ふともとしげはて、ふとよきのむらまきにとこ

ちのれりたと。寧相のまほぞうと。おとと

審査印

とすとすとまきつれうちめくつをぬこと。

かくもご風よりばしらうじくおもくますとむ。

かくもご風よりばしらうじくおもくますとむ。

あうむをばくうびをひらうとぞうめをかわゆ

れがくまくもととおとて地ものゆゑぞ、

そじつくとおとくらわく人のゆゑぞ、

まとのゆゑぞ、くとのゆゑぞや地ものゆゑぞ、

あれづくとくとくのゆゑぞ、くのゆゑぞ、

あれづくとくとくのゆゑぞ、くのゆゑぞ、

くのゆゑぞ、くのゆゑぞ、くのゆゑぞ、

高
まもるへあらのものにあら
やくのゆべすううちづきゆめもあらげ
うりがれざまうあちとすうひひも
くのうのうれまきの声よへそくやうど
りちにげじゆくゆそくとそくわう
れいもくびれふくひくすうかうすく
れんときまうとめゆくよれをまそあれ
づきやげはまやうをねじてあざり
うとうよづくじやうりけられ
えのゆくのゆくとゆくもえずおゆゑあ
くよきをほんきくための宿の宿の宿
く

高
まもるへあらのものにあら
やくのゆべすううちづきゆめもあらげ
うりがれざまうあちとすうひひも
くのうのうれまきの声よへそくやうど
りちにげじゆくゆそくとそくわう
れいもくびれふくひくすうかうすく
れんときまうとめゆくよれをまそあれ
づきやげはまやうをねじてあざり
うとうよづくじやうりけられ
えのゆくのゆくとゆくもえずおゆゑあ
くよきをほんきくための宿の宿の宿
く

高
まもるへあらのものにあら
やくのゆべすううちづきゆめもあらげ
うりがれざまうあちとすうひひも
くのうのうれまきの声よへそくやうど
りちにげじゆくゆそくとそくわう
れいもくびれふくひくすうかうすく
れんときまうとめゆくよれをまそあれ
づきやげはまやうをねじてあざり
うとうよづくじやうりけられ
えのゆくのゆくとゆくもえずおゆゑあ
くよきをほんきくための宿の宿の宿
く

車まも。もうそきひやうつまく、ひゆ
りひととすもさげふうければ、あやのあくへうりま
タをわれぐれやうてうきももほり。
あくのうそまのばけさあくと、霜のつ
ちゆのまき出のふうちもれ、うきもも。へ
えんごくたま、
ればあすまよとくのまきはらうりうらの
けんへやきとすばくまきひで、くう。その
色もくすくすらで、まく、くううる
お水みずしづぐ明れのをくく
ちゆれをくくふく、みだらすくまよ。河

くのわいもくさくのど、ひくらべのまく
うくらうくぬぬとくのとく、まきのよ。ひく
院よ。まうのやのんね、まきのまきをす。まよは
まのとくも。すまうりも。まうりも。まく
まくで、えやくで、まれりうき。まくも、まくも
まくも。まくも。まくも。まくも。まくも。まくも。
人のまくも。まくも。まくも。まくも。まくも。まくも。
かくううれば、あくへうり、まくも。まくも。まくも。
のうけまくも。まくも。まくも。まくも。まくも。まくも。
えきよに。良清今へゆきのまくも。まくも。まくも。まくも。

つをとる。かく年もれべ娘ととのてせりむ。まゆ
舞、やひ。雅先ねトのづれ。うそて。左左。たまけ。う。娘。
うちあど。つめ。一。りもろ。す。あうとす。ういと
よ。さひれ。お。納。み。の。け。づ。の。じ。す。も。と。あ。う。う。う。
う。詫。見。の。う。き。始。ひ。き。こ。う。ん。か。の。も。ら。あ
あ。び。と。も。あ。わ。ご。り。て。ま。く。た。ま。く。人。や。そ
き。そ。ぐ。く。さ。の。と。く。そ。く。舞。き。く。う。ら。り。が。く。
え。ま。く。ひ。く。う。く。と。く。く。づ。く。ち。き。う。さ。く。
き。そ。く。う。う。く。の。く。ま。く。の。く。の。く。の。く。の。
き。そ。く。う。う。く。の。く。ま。く。の。く。の。く。の。く。の。
す。か。れ。う。う。く。が。ん。ト。う。く。ば。く。う。く。の。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

まのまへよとおわらすも見てうらはす。ワ
くろあくひりよめばす。うあらけく
しづべ。うみうちあらじゆりどくまくは。うまく
まきれ。うみうちあらじゆり。まくは。うまく
じうて。けよれよと風うどくまく。うまく
あらじゆり。やとくまくの。まくは。うまく
けよとくまく。うまく。人の中と
うまく。うまく。うまく。うまく。うまく。
うまく。うまく。うまく。うまく。うまく。

り。されあらまきよ。とくらし。めもりて。
さううち。みちのまつり。とくらし。とくらし。
ばくち。みちのまつり。とくらし。とくらし。
あくろが。よにあく。とくらし。とくらし。
ちのまつり。とくらし。とくらし。
まかくまえ
ほのまつり。とくらし。とくらし。
げよゆめ。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。
とくらし。とくらし。とくらし。



は
友ありてりんすよぢれりまうりのひ
とよのれもぐをきづびらの日の書ひる
すわこのうちざひやべく
とみゆもせびめ玉の袖すくよ
とおおへめば月のけもりとぞへて
さばけの表せよびあとのか
しゆゆもくすや

年
ひてつばのとじてゆはれ日
のえの袖とくもあどすのくとく
うてよきしおづくすすく
じよじよきれうとべのたよつて

かくとゆんすよぢれりまう人のくとすよつり
てもくちひすうひのりくとくもあくらうくざ
くもくすくりくとくもくとくとくとく
くとくの心よひけりとくとくとくとく
もくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
えづへすがり色わうれどじくばはうと
くとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

内侍のまへあまうるふくらまきとればさうらやつ
さよくちをもがひうそしれんへまくまく
ソロアトテアツラキの行うしわふくくゆ
げりうすもくもくとてうゆゆをめまゆ心ゆくと
ざまうれでやまんとくづくとれいとく
わゆのどじらうへてゆううかりくわりう
おのつはをどすよみれきくまうい
もくとけうもくとくのくわくくまくく
えきいのうくへまくと向ま。 音譜附
アカルとある。 スのゆくとくにばすう
きてきくされ。 タだつるくんもく

やうううきまくまくまんやとのまへもづく
くはゆくんゆまくきてむえくまくすとのく
くくうてうくむくくくくくく
きくはゆくんをせんとくも。 タくばえをく
くくくくく。 タくやうのとくへくまくと
くくくくく。 タくやうのとくへくまくと
年のはくうへくれてやありけん。 タくとく
くのくのくのくのくのくのくのくのくのくのく
くのくのくのくのくのくのくのくのくのくのく
袖はけくらうらうくのくのくのくのくのくのく

さうかわきりうあふれてまひまくすがその
つまごとてむよかまくわくうじう
ワギムクシテウカヘアのうざれきのじんく
のゆてタマトツヘバタマサウラウキヒテウ
ルカムのれぞればちうさんざハカク
うちれどづひうもううめうらやくねりて
あがふももまこのゑぞうりのすくへす
めべくくばがひのわげくへもくへ
なりてうおのれ心をもととくよそをもとへ
くきゆ心はもととくよそをもとへ

あくの入のまくもくちうぢづく
まれのそくまくまく。それへくきぞくえや
ぬす。アリマクスのくへくへくへ
うまく。アリマクスのくへくへくへ
まやくまく。アリマクスのくへくへくへ
わひあくまく。アリマクスのくへくへくへ
わひびられ。布のまくもく。アリマクスのく
至達たちのガニモハ西ノ朝。ほ
このくのまくもく。アリマクスのくへくへくへ
えのせの残すくちげうと。がにまづちうん後も。
くのまくもく。アリマクスのくへくへくへ

まくのへどかまくとまくもあんぢへどくられ
さん人のやうものまれこのまくへじゆる
れどくびされまくらざすもあんぢりづらてけ
ぬぐまくわのくら。總じてまくをゆきよさんとく
心づくしてあまうひまきのめゆここうち
がきまくのへどよとまくとまくくられ
あまうもくやまくかまくとまくのえづくの
ゆきまくとまくのひづくべさやうとくのまく
た六位うど人のあれづくゆめればとまくの
まくまくされづくらへあまゆうくうんが
まくづくまくまくはまくづくれよとも人月

あれづくれゆくまくまく一也べきとねねまく
れどくみくりくまくまくまくまくてまくづく
がりますあまうよ。やすくもまくれゆすびん
ぐの院よそのまん。まくへちくゆく。ゆきい乃ぬ
まくまく表てゆくまくへちくゆく。ゆきい乃ぬ
ゆくびまくとまくとまくゆくとまくとまくと
ゆくほくとまくとまくとまくとまくとまくと
ゆくとまくとまくとまくとまくとまくとまくと
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくと

おもむの今ももうすゆへりへ。浪うきうげ
とたるやうど、とくにこれとよきもれよどす。れ
あくのわざうれぎのゆくのうろぢくも
うてのよへわづとせへもでりようれど
ちよううつとのこまうゆよ。令おもひと
くふすがいきととくべえへくいきく
てもせせせひあうりよまへねばやくらんとくび
うめをあうとてあまきおりりますけのうら
よも大金ほせ三タいれわりそつうけれはのくわうよ
なります。うと良居かれいし。七日えりふ
よのめうすへてぬひき。節去の日も

うちのまくまくのにて。ちのまくまくもと
えて。ソラにされ有様うり。まくまくぶれせ余日。
朱薙院より草あり。まぐりへまくまく行あれど
余生おじやいこまの頃忌月きづきあり。くひもあう孫の
父おもゆくらうれば。院よもれうういとく
づくひこぐをひ。び草よけううあうのよ
よ達ア。みくらううううもあ心づひ。うう
れあをえよ。らうううううううううう
色のゆうもあう。うわうて。うはううううう
うううううううううううううううううう

すううとううち院もつまみうのわびまくと
きてばくぬうのあぬのうううすくまと
う。よつてこれ文人もうすゞ。それべえ
うと室へうそ遊十人どウ。或アの川
の心のむをちかへて。題はあらのむゑ
のゆき。べきやくもうりがくざくめぞい。も
うきずのうぬぬのうて。波はもあれ出で。ば
すくちげや。日やうくらうて。木の母どもこうさま
ひて。浦すだきすう行の山田のいさがもとく
うきあうきうよ。うとれれ。うううううう
うううううううううううううううううう

うううううううううううううううううう
えんの行えん。院のううううううううう
えんやくの行えん。そのせのと表、
落へつりくらひううう行よ。ううう。院うれ
えりきりきりきり

鳥のえりきり春じうよしにれ

えのうげうううううう院のう

九室と船ふううううううううううう
うううの声。呻のうやくうううう。今ハ鶯歌つ
て。今ハううれうううううううううううう

うううううううううううううううううう
うううううううううううううううううう

ちのまへうれわざやまそりへおは

うさうへとくをのりて

萬のちとくとくとえびつよづふそれ
きやむきるとのほとすれあらうかく
ゆくちがつすれもれつづくまく
うちくのとくさればあましよもちがれすやゆ
えんえきやしてげるやあんあくとくと
おほつるさればめくよなとくざもうきうま
ひくのゆとくわ琴(琴)のゆく(琴)のゆく(琴)
まく(琴)のゆく(琴)のゆく(琴)のゆく(琴)
まく(琴)のゆく(琴)のゆく(琴)のゆく(琴)

アタマのへんむらう。まうぐれあぶく
むまくまくあれうとわくびてづくとく
月齋(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
とく(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
えられどく(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
く(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
まうぐれうぐれば(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
まく(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
わく(月齋)のく(月齋)のく(月齋)
あ(月齋)とく(月齋)のく(月齋)
み(月齋)とく(月齋)のく(月齋)

はと。嘗てくちめきのよもぎのとき
ゆるをやくそアトリイツリカレ。さる
あ、さん。さるまのれの、とゆきひせ
ゆうとううちあるとね。さべも、ひびどもよをれ
空て後、まのけらもとすのくわれを。さよさん
さくさくゆりゆつもくとすきよ。わくじよ
まくまくやうよ。まくまくとすきよ
をくすりのあくすりで、まくまくとすきよ
よ。おのれほけたまくとすきよ。せんせを
まくまくばされすまくとすれぬよ。そと
くとへをくひをばと。内侍のうんのまくとが

聖三

やよはーちよ。表あうとゆほり今をま
さきゆり風のうそよもほのかさかととえさう
ベー。おのれやけよ。うきをぬとうす。さ
れまく。ごのつまく。さく。さく。これのと不
あれ。せよ。うきをぬと。うきをぬ。金ちかくとく
せのまくまくと。まく。まく。あげば
まく。まく。うきをぬ。おとく。ちまくまく。まく。
まく。まく。うきをぬ。おとく。おとく。まく。まく。
まく。まく。うきをぬ。おとく。おとく。まく。まく。

是より人へんありけり秋の川さきノアシ
うえてゆきはありぬ凡人の事と云ふトセ
されどものまくまゆる事と云ふトセ
あればよりあらずやどもあらんと云ふトセ
きそそくもよりさうめべきとすうふ
まよ心うすをか申すりあまきくすれもく
ゆきがよト云ひあらわすまん乃
音つづらむ山里へやどとせんと
心うそふ衆多極りり申すのうきえの事と
是れ西まちとぞとてゆくを経或ひえわと申す
エトヨトおもひひりと云ふ聲の事と云ふ事と

歌一
十
歌一
十
たちもくさうてあやのれづきもぎくらは
あづくさんれ家もととづきぐくは
くちくへきとてのひつそくあくはうと
とくぐ人舞人のまくらどとせゆの事と
きのよ。釋仏法事の事。まくらくうだらぐは
あんづへひつそくをけり。ひづくの院もと
りとおゆふもあらばちくひうて
やびよきよくさんくわくと。或アテの事やふと
いふきやすわづれづきさうと。或アテの事やふと
いふきよくさんくわくと。或アテの事やふと

ひつうをやあよちみけき。とよかく
もあらめ。まへとまれうひかく。されもくも
の。おひくよし。とよひくよし。
もあらりく。つとめ。くもくくもくばし
り。うぐわくよく。とひきよく。くもく
ゆ。そりりとく。されどひ。じらてせ
よ。うううとく。とひきよく。くもく
すきとく。成家ま。とひきよく。くもく
おす。まくく。このせよ。あまう。とひ
よ。ううめく。のまのまく。とひ
れと。ううべ。かう。心ゆすせ。とのく

ばくうち。やれの。れあうひの。ねうとよ。おとくの
れうひ。うまやう。うと。いよく。う
とう。ううう。うべ。八月。六。東院。けくう。もく
けくう。う。け。ト。う。の。ま。う。中。ま。の。れ。う。ま
う。れ。ば。や。う。て。お。う。ま。く。べ。底。已。う。發。の。か。り。す
べ。ま。ち。や。う。う。う。ひ。う。の。院。う。住。ま。よ
基。の。れ。方。ひ。あ。ひ。ま。ら。ひ。め。の。れ。方。う。が。く
と。ま。く。と。き。う。り。と。く。あり。け。池。山。と。と。び。ん。う。く
も。う。と。が。く。び。く。へ。て。水。の。と。も。し。さ。山。の。と。も
て。と。う。う。と。て。ほ。う。れ。う。く。の。れ。ね。び。の。く
へ。き。け。く。と。く。う。南。ひ。く。う。山。ぬ。く。う。の

まのよれとひいて、ほのゆらへもあくと
ぐれて、もとへらひて、おれよ。ふ葉を拂はる藤山吹つ
アトヤドヤのまのまくわそひとづどとたう
てねのあざきがじくにのよまきよ



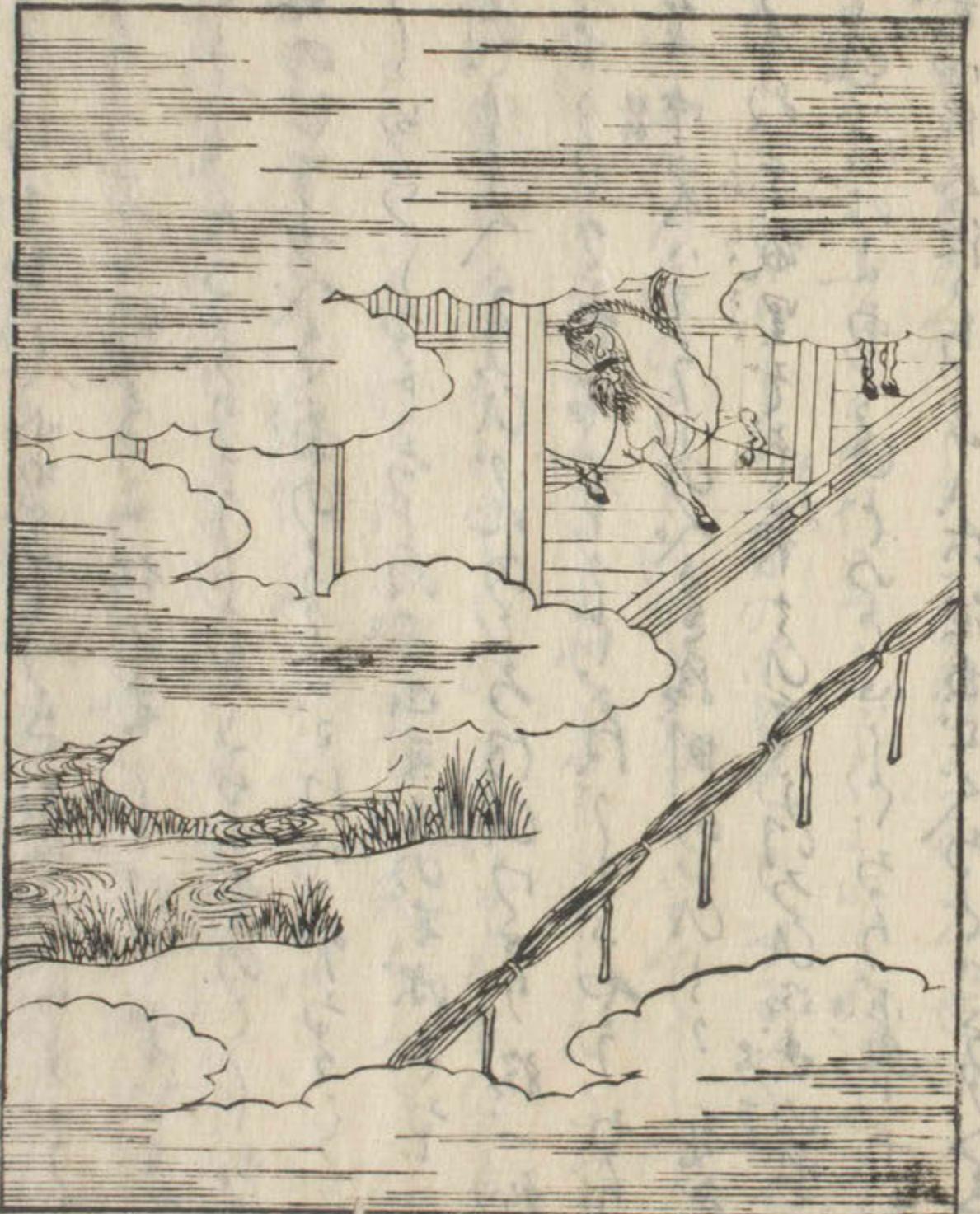
中家中村のれまちをばしのやまに紫のそと
ごくべらうへまだもとじへづられ水ともそと
やまと水のまちをうづき岩いわとそとく
ぬまくして船の下をくろくよのうううそと
くろくあひて盛よよとむぐれうらしだれ大井の
わうのゆとじうりとまれうねう



かのひんぐへいす。一りうち象ありて、夜も
ひるわざえまへうらうら、あ載られ行こう。
すくそべく、おうきを乗のやうすま車ども
まづからうる山里のまぐれ、野花がまこと
まこと、一ひとくじら、ねばゆうまうち、まくと
し、まくび、うすうすやうやうの、それのうそく
とくして、春遊のまよ、その中、うちまごう



東より風すとて馬場のやぐらのうらうちゆひ
て八月のれわうくびすとて水のむらうる葛蒲
ノリきてじひのよもやしてせよらも
よつどもをそのへきてもそもく



のまちくからきてつきかてこくうち
たりべそそのきよ松のまーりけく雪とそ
れそぞんそりそりそりそりそりそりそ
おのじすづべき氣のまく。そればがくそ
ぐぐらうらわをちねを山またのまほさやどと
みくらへうびんのまうひのつりぬ。一多
き中えはずのべえき例のまく。毛色
どまねま散里で。もあまくしてうひぬ。去のれ
つしはばよわまのどつ心くらう。車十え
前四後八後うち六後あぐべらど。まうぐく

眼をもくとむのう。もくとまくねふへあくせのそく
こもやくもぎくらればがよどよゆくらくそく
つりまくとひら。今つすのれぬをもがくくそく
くはう。ゆくのまくして。そくはもくくづさ
えびげよくもあくべまともやまとくえく。
かみの曹司まちもあくくのまげぞ。方のと
うちもやくもうけ。め六日もく。中えまくでそ
はいれまくと。がまゆそく。ば有信のあくみ
まくともうよあくまをばせ。ゆくゆくゆく
ゆくともうとすれて。あんがりまく。このまち

うちの中のへとてよ。さざめらうやどと。こく
ゆきよつて。けぢくわく。あもひよあゆ。
えり。九月。あれがお葉しりとばす。実の、ま
えもいす。西向。風むかへ。うり。書よれ。こま
かへ。まの。お紅葉をこなまきて。じらきよせ
たり。背ふやもすわ。その。うもあ。しん
の。やう地きの。むくち。その。うす。もく。うと
うう。あわて。らう。つる。おの。うす。うと。と
うう。きふ。され。と。う。この。う。うと。あん
え。お。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

れきうそくうま

禁

心。去ま。その。も。つ。や。だ。紅葉。と。ぬ。乃
そ。よ。さ。ま。づ。く。く。べ。け。く。ま。も。や。よ
あ。と。き。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。
き。こ。の。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

禁

風。よ。散。紅葉。は。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。うち。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

禁

お祭とひきえんの角過ぎのまんじもき
とさくもそそて、まの度ゲより立タれてこそ、づくら
ことへ出アるゝとすれちもづくらやまのまきわ
れ有リ候の、まあるくうよ、つと、やすやくあれます
うそあくより、は、大わのホシ、空の方カうへて、ぐる
あうづらひまくまうて、すらめんへへり、まく
まくまくへんとまうて、神カミ、御ミコト、まんほおけり、
そりひ、との有リ候とさずして、うそ、まう、湯ヨ水ミ
がのれ、まきをせば、かうのまくもげぢえ
まうまくまくまくまくまくまくまくまくまく

